

# 令和6年度学校自己評価システムシート (県立庄和高等学校)

目指す学校像	夢 飛揚 自分色に輝き、社会で活躍できる人材を育成する ～Color your future! (生徒の未来を彩る)～
--------	---

重点目標	<p>1 自らの将来に対して主体的に考える力を養い、きめ細かい進路指導を通して、質の高い進路目標を設定させ、個々の希望進路の実現に向け粘り強く取り組ませる。</p> <p>2 学習環境を整備し、工夫された授業を通して、生徒の学習意欲を喚起し、主体的に学習する態度と、進路実現のための真の学力を身につけさせる。</p> <p>3 学校行事や部活動、探究活動、国際交流などを通して成功体験を積み、社会性や協調性を身につけ、世界的視野を持たせ、より高い目標にチャレンジできるたくましい精神を育む。</p>
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間を見据えた進路指導行事及び進路学習が計画的に行われている。</li> <li>○各教科及び就職支援アドバイザーとの連携し、個別に丁寧な対応がなされている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に進路活動を行い、意欲的に挑戦する生徒を育成していくこと。</li> <li>○将来の教職員数減を見据えながら丁寧な指導体制の維持を図ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に考える力を養い、自己理解・職業理解を進め、より良い進路選択を目指す</li> <li>○チャレンジするための進路活動を企画、整理することで、力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①進路講演会や職業を知る、適性検査や模擬試験の受験や振り返りなどを通じて、生徒が自己や進路と向き合う機会をつくる。</li> <li>②朝学習や表現トレーニング、進学講習、模擬授業や学校情報ガイダンスなど事前・事後指導も含めて計画的に実施し、より良い進路を目指させる。</li> <li>③求人票入力デジタル化等業務の効率化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①指導計画に基づいて実践的な指導を積み重ね、それぞれの学年の到達目標に達することができたか(提出物等)。</li> <li>②進路学習を計画的に実施し、効果を得ることができたか。</li> <li>②実施した方策によって生徒の学力や進路意識、態度に変化は見られたか。</li> <li>③業務を効率化して実施する中で、生徒の進路室来訪数が増加したか。</li> </ul>			
2	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Google Classroomを活用した授業が各教科で行われている</li> <li>○教員相互に授業見学を行い、授業力を向上させる意識は醸成されている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1人1台情報端末の導入が2年目となり、各教科で授業でのICT活用の事例を共有し活用を推進していくこと。</li> <li>○ICTを活用した授業を推進するために必要な機器を揃えていくこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ICT」を活用した授業方法を研究、教員の授業力向上のための研修等を企画することで生徒の主体性を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業でのICT活用事例を共有し、授業を効果的に行う。</li> <li>②授業公開週間を複数回実施し、研修等を企画することで指導法の共有を図る。</li> <li>③思考力、判断力、表現力を測る評価方法及び観点別評価の判断基準の簡素化・明確化の検討を進めることで、生徒の資質・能力を見とる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「生徒タブレット」等のICT等の活用により、生徒が昨年度と比較して主体的に発言・意見表明ができたか(提出物および生徒アンケート)。</li> <li>②教員間の指導法の共有を生徒が授業内で実感できたか。</li> <li>③ICT等の活用によって、生徒の思考力・判断力・表現力が育まれたか(評価場面)。</li> </ul>			
3	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校行事等に生徒は主体的に取り組んでいる。</li> <li>○国際交流事業として姉妹校である台湾の高校との交流を実施した。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒減及び職員減に対応し、生徒に対する指導の質の低下を阻止できるよう、指導体制の改変などの工夫をしていくこと。</li> <li>○効果的に探究活動や国際交流活動が実施できる環境を整備していくこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校行事、ボランティア活動などに主体的に取り組ませ社会性や協調性、チャレンジ精神を育む。</li> <li>○学校内外における規範意識を醸成する。</li> <li>○探究活動及び国際交流活動プログラムを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①チャレンジ精神を継続的に育めるよう、生徒が主体で各学校行事を企画、運営させ、部活動やボランティア活動への積極的な参加を促す。</li> <li>②苦情に対する改善点をより具体的に指導する。</li> <li>③効果的な探究活動や国際交流活動の実施に向けて内容及び日程等を調整していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①募集するボランティア活動等に生徒が積極的に応募して活動したか。</li> <li>①学校の諸活動に生徒が指示を待つだけでなく、状況判断等の生徒同士のやり取りができたか。</li> <li>②交通ルールに関する苦情件数が減少したか。</li> <li>③探究活動及び国際交流活動に生徒が主体的に参加できたか。(生徒アンケート調査)</li> </ul>			

学校関係者評価
実施日 令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等